

避難生活の実態

「福島第一原子力発電所事故による避難生活への影響に関する検証～検証結果（案）～」

「福島第一原子力発電所事故による避難生活への影響に関する検証～検証結果の解説～」より抜粋

避難生活に関する総合的調査（2017年度）

- 当面の滞在先を決めた避難者は、生活していくための住まいや仕事等の確保が求められたが、「住宅の都合で家族がまとまって住めなくなった」、「正規の職に就けず収入が減少した」等、住居・収入面で避難前と同等の生活をするのが困難なケースが見られた。

避難の課程で家族が分散

- 単身世帯と二世帯が増加
（震災前：32.4%→調査時：50.2%）

就業形態の変化

- 避難により、正規職員が減少し、無職や非正規職員が増加
- 避難指示区域外は非正規職員が最も多い
（避難前：20.9%→調査時：34.5%）

避難により世帯収入が減少

- 毎月の平均世帯収入は**10.5万円減少**
- 平均世帯支出は大きくは変化していない

出典：新潟県原子力発電所事故による健康と生活への影響に関する検証委員会「生活分科会」（第9回）
（2020年11月11日）配付資料より岩淵友事務所作成

2020年12月2日 参議院東日本大震災復興特別委員会提出資料① 日本共産党 岩淵友